



4.1

2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。

4.5

2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。

米田 護

附属病院

口腔診断・総合診療科

小中学生ならびに知的障がい生徒を対象とした 理解しやすい口腔保健指導

小学校ならびに中学校の生徒に対して、また、高等支援学校の知的障がいがある生徒に対して、理解しやすい口腔保健指導のあり方について模索しています。

本学は「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の構成団体の一員です。2014年から「枚方市健康医療キャラバン事業」の一環として枚方市内の小中学校の生徒や高等支援学校の知的障がいがある生徒を対象に口腔保健指導を実施してきました。「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」を目標に8020運動が推進されています。子どもの時から口腔に関する正しい知識を持つことが、長い将来を見据えた「お口の健康」につながります。



message

今までの蓄積された指導経験を活かしてさらに内容を見直し、枚方市の児童生徒の口腔保健に寄与していきたいと考えています。